

令和5年度
黒崎中学校
学校便り
第21号

かがやき・きらめき・くろさき

輝☆☆黒崎

校訓：自律 奉仕 創造

令和6年3月15日 文責：校長

= 学校教育目標 =

生きる力を身につけ、心豊かで、たくましく
未来を創造しようとする生徒の育成

黒崎中学校第77回卒業証書授与式 挙行!

3月8日、穏やかな天候に恵まれ、黒崎中学校第77回卒業証書授与式が挙行されました。少し肌寒さこそありましたが、うららかな日差しは159名の門出を祝ってくれているかのようでした。今年はPTA会長、学校運営協議会委員の皆様等4年ぶりに5名の来賓を招いて行うことができました。

整然と入場した後、卒業証書の授与です。一人一人に手渡しお祝いが言えてよかったです。式辞では「感動多き人生を歩んでほしい」というメッセージを伝えました。来賓祝辞の後、在校生代表の送辞は、生徒会副会長の**君が読み上げ、前生徒会長の**さんが、3年間の思い出や卒業に向けての決意を答辞に込めて伝えてくれました。式終了後は、保護者や先生方への感謝の気持ちを込めて、合唱を披露しました。「あなたへ」「群青」の2曲を熱唱し、感動の拍手に包まれた中で卒業生が退場。本当に素晴らしい卒業式でした。



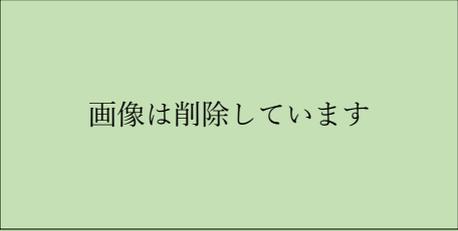
「Seasons of Kurosaki」披露!

3年生が文化祭で展示したモザイクアートに、冬の写真をプラスした「Seasons of Kurosaki」が卒業式の壁面を彩っていました。「春霞」「清夏」「秋麗」「幻冬」と名付けられた4枚のモザイクアートで、母校からみられる四季を幻想的に表現しています。これらは77期生共同制作として、校内掲示する予定です。



= 1年生「夢授業」開催 =

3月12日の午後、1年生は多くの職業人から働くことの意義や仕事についてのお話を聞く「夢授業」を行いました。ブースに分かれて、やりがいや苦労話などで大いに盛り上がっていました。皆さんが夢を見つける何かきっかけになればいいですね。



<保護者の皆様へ> 第77回卒業証書授与式は、滞りなく終了することができました。皆様の、特に**会長をはじめPTA役員の皆様のご協力で心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(校長:宮基)

校長室より 【そうさん】
童謡の「そうさん」は1951年に発表されたもので、戦争に敗れた日本人の心にしみわたり、多くの人が感動した童謡です。実はこの「そうさん」は「もっともっ」と強く自分に自信をもとう」ということを伝えている歌なのです。作詞した童謡作家のまど・みちお氏が、この歌のことを「象の子は、鼻が長いねと悪口を言われた時に、しよげたり腹を立てたりする代わりに、一番好きなかあさんも長いのよ、と誇りを持って答えた。それは、象が象として生かされていることが素晴らしいと思っているからです。」と説明しています。自分をよく見つめると自分にしかないよさが必ずあります。自分のよさや可能性を信じ、同時に他の人のよさにも積極的に関心を向けるようになると、自分自身も豊かになるし、よい人間関係が築けるのではないのでしょうか?(宮)